

月 日	曜	区分	学 校	訪 問 者		
				指 導 班	学 校 教 育 指 導 委 員	管 理 者
16	火	午後	相馬農(飯館)	佐竹、大槻、白土 飯島	鈴木通	栗村、六角 小林
17	水	午前	相馬	佐竹、飯島、大槻、白土		栗村、小林、六角
25	木	夜	いわき中央	伊藤、早川、牧野		菅野朋、栗村、小森
26	金	午前	平盲・豊	伊藤、早川、牧野		菅野朋、栗村、小森

#### 4. 学校教育指導委員

学校教育指導委員は、学校教育指導委員設置要項にもとづいて、県立学校としては昭和42年より設置されている。主として、各教科の専門的事項の指導助言にあたり、本県の学力向上をはかることを任務としている。

昭和46年度は16名を任命し、学校教育指導委員連絡協議会に参加するとともに、本庁の計画する学校訪問や各学校からの要請による学校訪問において指導活動を実施し成果を挙げることができた。

##### (1) 昭和46年度学校教育指導委員

教 科 等	職 名	氏 名	所 属 学 校 名
国 語	教諭	五十嵐大典	福島高等学校
社会(地理)	"	菅野 康二	郡山商業高等学校
社会(世界史)	"	岩本 堅一	磐城高等学校
数 学	"	山川 進一	福島高等学校
理科(生物)	"	松田 友吉	安積高等学校
理科(地学)	"	高木 敏夫	磐城女子高等学校
芸術(音楽)	"	荒 武敏	原町高等学校
芸術(書道)	"	須田 哲夫	梁川高等学校
外国語(英語)	"	泉田 輝良	原町高等学校
農業(園芸)	教頭	園部 正一	福島農蚕高等学校
工業(電子)	教諭	亀岡 一俊	福島工業高等学校
工業(工業化学)	"	小滝 彦市	会津工業高等学校
商 業	"	桜井 正一	喜多方商業高等学校
家 庭	"	鈴木 道子	小高農業高等学校
定 通 教 育	主事	渡辺 一朗	郡山工業高等学校
特 殊 教 育	教頭	柳沼 誠	郡山盲学校

##### (2) 昭和46年度学校教育指導委員連絡協議会

###### ① 日 時

昭和46年5月10日(月)、午前10時40分～午後3時30分

###### ② 場 所

福島中央高等学校

###### ③ 内 容

- イ 指導委員の任務と研修について
- ロ 指導委員の勤務について
- ハ 各教科の指導法について

##### (3) 教科指導

国 語	梁川高校、福島西女子高校
社 会(地 理)	郡山工業高校(全日制・定時制)
社 会(世 界 史)	勿来高校、小名浜水産高校
数 学	梁川高校、福島中央高校
理 科(生 物)	郡山商業高校、安積女子高校
理 科(地 学)	安積高校、勿来高校
芸 術(音 楽)	富岡高校
芸 術(書 道)	郡山商業高校

外国語(英語)	原町高校、小高工業高校
農 業	本宮高校白沢分校
工 業(電 子)	二本松工業高校
工 業(工業化学)	喜多方工業高校
商 業	西会津高校
家 庭	富岡高校、相馬農業高校
定通教育	福島中央高校
特殊教育	福島盲・聾学校

## 第15節 教科書採択と管理運営

### 1. 昭和47年度使用教科書の採択

小・中学校用教科書の採択は、「義務教育諸学校の教科用図書は無償措置に関する法律」にもとづいて実施された。本年度は、小学校は継続採択、中学校は採択替え採択となった。

#### (1) 教科用図書選定審議会

##### ① 教科用図書選定審議会委員

構成分野	職 名	氏 名
教職員代表 8名	福島市立福島第三中学校校長	佐藤 厚友
	郡山市立小原田中学校校長	佐久間俊隆
	大信村立大信中学校校長	円谷 泰秋
	喜多方市立喜多方第三中学校校長	石田 茂樹
	原町市立原町第一中学校校長	西山 正
	福島市立福島第一小学校校長	細谷 朔
	福島県立福島盲ろう学校校長	遊佐 恭平
	桜の聖母学院中・高等学校校長	大溝 節子
教育行政 機関代表 9名	福島県教育委員会教育次長	北橋 徹
	福島県教育センター所長	白岩 和夫
	福島市教育委員会委員長	阿部 信
	二本松市教育委員会教育長	三瓶 芳徳
	郡山市教育委員会教育長	堀内 鉄雄
	会津若松市教育委員会教育長	桜木 甚吾
	いわき市教育委員会教育長	大和田道隆
福島県教育庁県北教育事務所長	鈴木 四郎	
同 指導課長	古山 直一	
学識経験者 代表 3名	福島大学教育学部教授	田口 孝之
	同 同	宮口 春雄 島貫 快祐

- ② 人 数 20名
- ③ 発 令 年 月 日 昭和46年4月1日
- ④ 氏名公表の有無 公表しない
- ⑤ 開 催 期 日 昭和46年5月6日  
昭和46年6月9日
- ⑥ 場 所 福島第一小学校会議室